

全校生のみなさん、2日間にわたるスポーツ大会、大変お疲れさまでした。この体育館がものすごい熱気に包まれ、たくさんの白熱した試合が繰り広げられました。5年ぶりの開催ということで、1年生から3年生までの全員にとって初めてのスポーツ大会、先生方にとっては久しぶりのスポーツ大会でした。生徒会や体育委員の皆さんをはじめとする準備・運営に携わってくれたすべての生徒の皆さん、また審判を手伝ってくださった生徒の皆さんや先生方など、多くの方の協力があって、このように大成功に終えることができました。自分一人では決して生み出すことのできない、大切な思い出がまたひとつ増えましたね。

さて、この夏、九州で行われるインターハイに出場するテニス部、フェンシング部、そして少林寺拳法の選手の皆さん、改めて、出場おめでとうございます。

インターハイ出場という目標を掲げ、努力を重ね、その目標を現実のものとして手に入れた選手のみなさんに言いたいことは、ただひとつです。

「全国」というとてつもない大きなステージに立つことのできる喜び、感動、そして自分を支えてくださっている多くの人々、仲間への感謝をかみしめながら、存分に思いを込めてプレーしてきてください。全校生徒と教職員一同、ここ秋田の地から力いっぱい声援を送っています。がんばってきてください。

また、合唱部の皆さんは、この夏、いくつかの高校と秋田県合同チームを組んで、岐阜県で行われる全国総合文化祭に出場します。文化部のインターハイとも言われる全国の舞台上で歌える喜び、感動を、聴いてくださる方々の心に届けてきてください。2年後に迫った全国総文秋田県大会に向けての良い準備となりますように願っています。

そして、この1年間、生徒会中央委員として、誠実に生徒会活動に取り組んでくださった前中央委員のみなさん、大変お疲れさまでした。今年の聖霊祭やスポーツ大会もそうでしたが、コロナ後、例年通りという言葉が通用しない状況の中で、実にクリエイティブに、アイデアを出し合い、様々な取り組みをしてくださいました。私たちの学校が、聖霊学園高校としての新しい歴史の一步を輝かしく歩み出すことができたのも、生徒会の皆さんを中心とした生徒の皆さん一人ひとりの協力があったおかげです。心から感謝します。

今日、生徒会中央委員のバトンを受け継いだ9名の皆さん、今、この時の気持ちをしっかりと心に刻みましょう。聖霊生437名の生徒で組織される聖霊高校生徒会をどうぞよろしく願います。全校の生徒の皆さんとともに、聖霊高校の魅力をますます輝かせていくことを期待しています。

最後に、明日からいよいよ夏休みです。4月から今日までのみなさんの3カ月半は、どうだったでしょうか？ おそらく、ひとことでは語る事ができない、みなさん一人ひとり

の一日一日があったのだと思います。その一日一日の積み重ねの実りとして、今の皆さんがここにいます。今年の夏休みは、31日間です。この31日をどのように過ごすかによって、夏休み明けの皆さんは変わることができます。

特に3年生の皆さん、「覚悟を決める夏」にしましょう。少し無理かなと思うことでも、背伸びをして挑戦してみる覚悟を決めましょう。覚悟を決めることで、「やるしかない」という前向きな気持ちになり、勇気が湧いてきます。必要な力が与えられます。決して後悔しない夏にしましょう。

そして、1, 2年生の皆さん、通常の授業はなくても、みなさんの心と体と頭脳の成長は止まるわけではありません。部活動などで体を鍛える、勉強に懸命に取り組んで頭を鍛える。でもそれだけではなく、夏休みにしかできないことや体験をたくさんして、心も鍛えてください。どのような自分になりたいのか、自分自身の心の深いところにある望みとしっかりと向き合い、1年後、または、2年後の自分に向けて準備していきましょう。

それでは8月20日、また元気にお会いしましょう！